

氏名	延原弘章	部署	健康開発学科・健康行動科学専攻	職名	教授
研究分野	保健統計・疫学				
学位	保健学博士、博士(医学)				
学歴	1980年東京大学理科二類入学、1984年東京大学医学部保健学科卒業、86年東京大学大学院医学系研究科修士課程修了、89年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了				
経歴	1989年昭和大学医学部助手、93年岡山県立大学保健福祉学部講師、99年岡山県立大学保健福祉学部助教授、2001年高崎健康福祉大学健康福祉学部助教授、04年高崎健康福祉大学健康福祉学部教授、11年埼玉県立大学保健医療福祉学部教授				
所属学会(役職)	日本保健福祉学会(理事、学会誌編集委員)、日本公衆衛生学会、日本健康教育学会、日本疫学会、日本循環器病予防学会				

【2017年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了 ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1)著作					
1	該当なし				
(2)論文					
1	Effectiveness of role-play in hazard prediction training for nursing students: A randomized controlled trial	共著	Journal of Nursing Education and Practice; 8(2); 1-7	Yasuyo Sato, Sachiko Okamoto, Kazunori Kayaba, Hiroaki Nobuhara , Keiko Soeda	2017.9
2	社会経済的要因と特定健診結果の関連について—市町村単位の生態学的研究—	共著	厚生の指標; 64(12); 14-22	中島富志子、萱場一則、 延原弘章	2017.10
3	「いきいき」働く中堅看護師が「いきいき」働くための要素を獲得するプロセス	共著	保健医療福祉科学 7; 7-13	中込洋美、横山恵子、添田啓子、 延原弘章	2018.3
4	埼玉県における地域での看取りに関わる要因分析	共著	保健医療福祉科学 7; 33-39	田上豊、山口乃生子、星野純子、會田みゆき、 延原弘章	2018.3
5	ロールプレイを用いた危険予知トレーニングの効果の検証—イラスト使用との比較—	共著	保健医療福祉科学 7; 87-91	佐藤安代、岡本佐智子、萱場一則、 延原弘章 、添田啓子	2018.3
(3)学会発表					
1	Educational inequality in the age at smoking initiation between China, South Korea and Japan	共著	The 21st International Epidemiological Association, World Congress of Epidemiology, Saitama	○Kanade Ito, Chihiro Wakabayashi, Yuki Noguchi, Yoshinori Kitabatake, Hiromichi Sakai, Hiroaki Nobuhara , Hiroshi Yanagawa	2017.8
2	喫煙と生活満足度との関係	共著	第76回日本公衆衛生学会総会、鹿児島	○伊藤奏、 延原弘章 、若林チヒロ、野口有紀、北畠義典、本間三恵子、内山真理、新村洋未、山口乃生子、金さやか、柳川洋	2017.11
3	地域住民の駆動喫煙の実態	共著	第76回日本公衆衛生学会総会、鹿児島	○ 延原弘章 、本間三恵子、若林チヒロ、北畠義典、内山真理、伊藤奏、新村洋未、山口乃生子、金さやか、野口有紀、柳川洋	2017.11

4	中国北京市、韓国、日本における喫煙と受動喫煙	共著	第76回日本公衆衛生学会総会、鹿児島	○若林チヒロ、伊藤奏、野口有紀、本間三恵子、内山真理、山口乃生子、北畠義典、新村洋未、 延原弘章 、金さやか、柳川洋	2017.11			
5	健康情報を求める者の属性・主観的健康感および生活満足度:本邦・ハワイの比較	共著	第76回日本公衆衛生学会総会、鹿児島	○本間三恵子、 延原弘章 、若林チヒロ、北畠義典、内山真理、伊藤奏、新村洋未、山口乃生子、金さやか、野口有紀、柳川洋	2017.11			
6	日本とハワイにおける喫煙と生活満足度に関する国際比較研究	共著	第28回日本疫学会学術総会、福島	伊藤奏、延原弘章、若林チヒロ、野口有紀、北畠義典、柳川洋	2018.2			
(4)その他								
1	該当なし							
2.競争的資金等の研究								
	競争的資金等の名称		研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間			
1	該当なし							
3.教育業績								
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)					
(1)講義								
1	保健福祉統計①	2017.4～2017.6	専門基礎科目として、保健福祉に関する統計手法を教授した。					
2	保健福祉統計②	2017.4～2017.6	専門基礎科目として、保健福祉に関する統計手法を教授した。					
3	疫学①	2017.6～2017.8	専門基礎科目として、疫学について教授した。					
4	疫学②	2017.6～2017.8	専門基礎科目として、疫学について教授した。					
5	健康科学IV	2017.4～2017.8	健康行動科学専攻の専門科目として、保健統計を教授した。					
6	健康科学V	2017.10～2018.2	健康行動科学専攻の専門科目として、疫学について教授した。					
7	保健福祉評価論	2017.10～2017.11	博士前期課程の学生に対して統計的手法を教授した。					
8	保健医療福祉研究法特論	2017.4～2017.5	博士前期課程の学生に対して疫学的手法を教授した。					
9	長寿健康福祉論①	2017.4～2017.8	博士後期課程の学生に対して高齢化社会の課題を教授した。					
10	健康科学実証研究法特論②	2017.10～2018.2	博士後期課程の学生に対して実証科学的研究方法を教授した。					
(2)演習								
1	コンピュータ演習①	2017.4～2017.8	EXCELを中心に基本的なPC操作についての演習を行った。					
2	コンピュータ演習②	2017.4～2017.8	EXCELを中心に基本的なPC操作についての演習を行った。					
3	コンピュータ演習③	2017.4～2017.8	EXCELを中心に基本的なPC操作についての演習を行った。					
4	コンピュータ演習④	2017.4～2017.8	EXCELを中心に基本的なPC操作についての演習を行った。					
5	課題別演習 I	2017.4～2017.8	統計的演習を中心に、データ分析の基礎の演習を行った。					
6	課題別演習 II	2017.10～2018.2	統計的な手法を使った種々の研究論文の抄読を行った。					
(3)実習								
1	IPW実習	2017.8～2017.10	多職種間連携実習で1グループのファシリテータを務めた。					
(4)論文指導								
1	博士論文	2017.4～2018.3	副指導:5名					
(5)その他								
1	卒業論文	2017.4～2018.1	指導:2名					
2	博士論文審査	2017.10～2018.1	博士論文の主査を務めた。					
3	保健師国家試験対策(疫学)	2017.12	看護学科の保健師国家試験対策の講義を行った。					
4.社会貢献活動								
(1)講演会、研修会等の講師								
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ		開催年月			
1	該当なし							
(2)国、自治体、財団法人等における委員等								
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称			任期			
1	草加市	草加市振興計画審議会委員			2016.9～2018.9			

(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	大学院入試委員会 委員		
2	SPU学会 理事		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		